

□新庁舎の基本コンセプト

1. 防災拠点機能に優れた『強靱な庁舎』

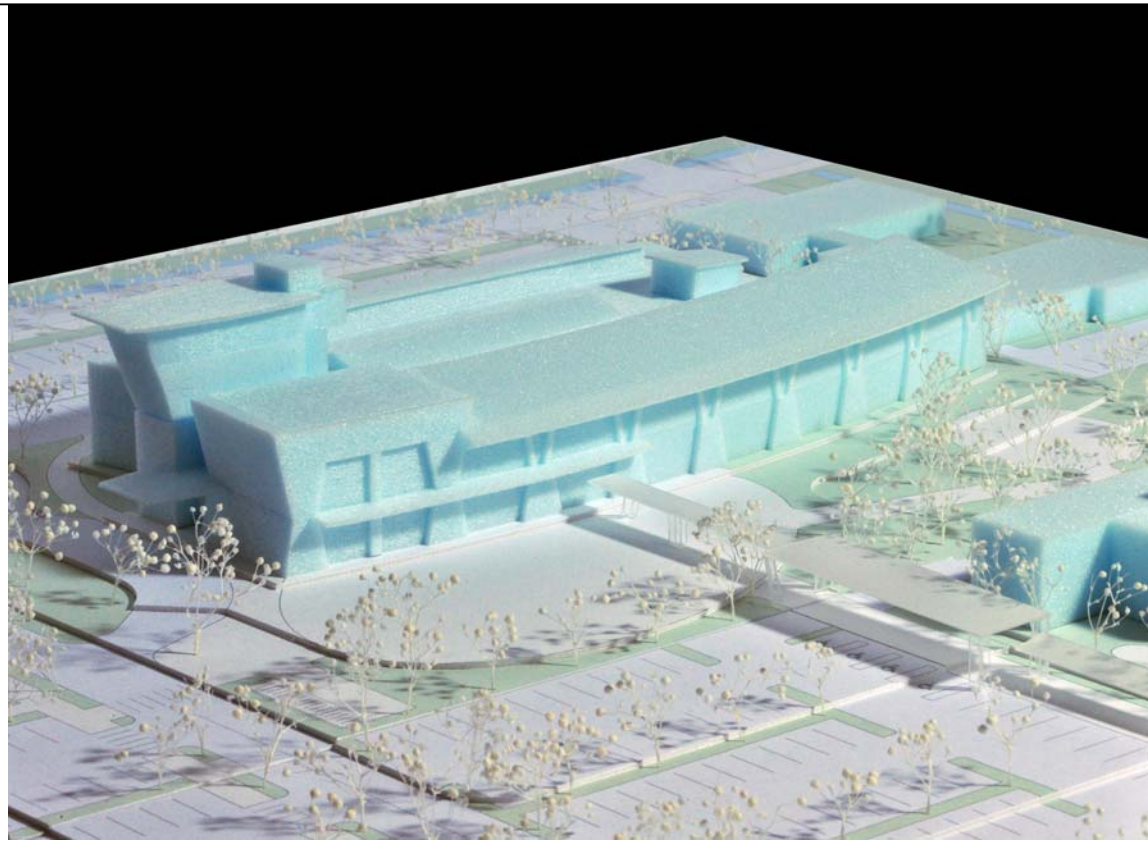
- ・災害時に強い庁舎とする。(水害を考慮して防災機能を2階に配置.)
- ・十分な耐震性能を備えた安全な構造とする。(耐震安全性Ⅰ類)
- ・災害時でも有効に利用できる設備システムとする。(熱源の二重化等.)
- ・新庁舎を中心に周辺施設と連携して防災機能を高める。

2. 町民が集い、活動する『誰もが利用しやすい庁舎』

- ・建物周囲を樹木と花で包み、町民が気軽に立ち寄り、様々に交流できる庁舎とする。
- ・新庁舎は低層の2階建てを基本とし、見通しが良く、シンプルでわかりやすいつくりとする。
- ・職員が連携しやすく、町民へもサービスしやすい庁舎とする。
- ・ユニバーサルデザインに十分配慮した庁舎とする。
- ・内部に地場の木を多く使い、温かく一体感のあるインテリアとする。

3. 時代の変化に対応するとともに、地球環境に配慮した『変化に対応できる庁舎』

- ・町民に親しまれ、時代の変化に対応しながら、
永く愛着をもって使い続けられる庁舎とする。
- …傷みにくく、長寿命で、省エネかつ維持管理の負担が少ない庁舎。
- …今後の組織再編や機器の更新等にも柔軟に対応できる庁舎。
- ・外断熱の導入などにより省エネで快適な庁舎とする。
- ・自然エネルギーを有効活用する。(太陽光、通風、地中熱、雨水等.)



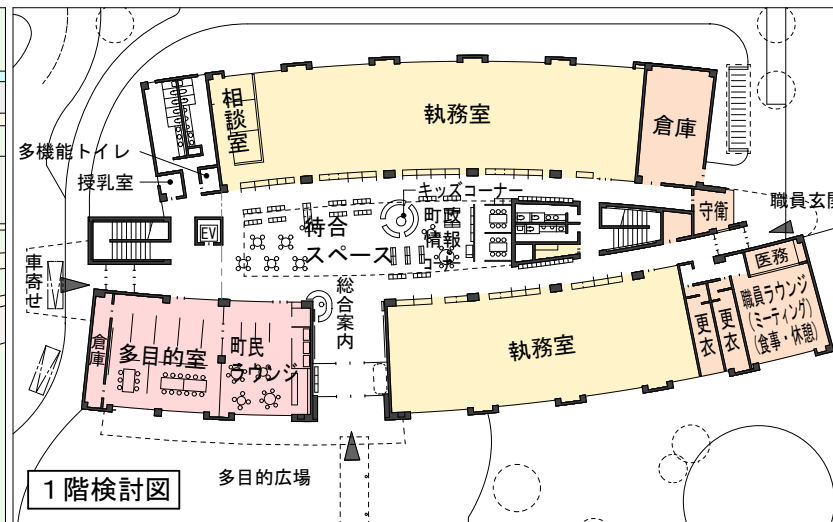
外観イメージ (南西側より)



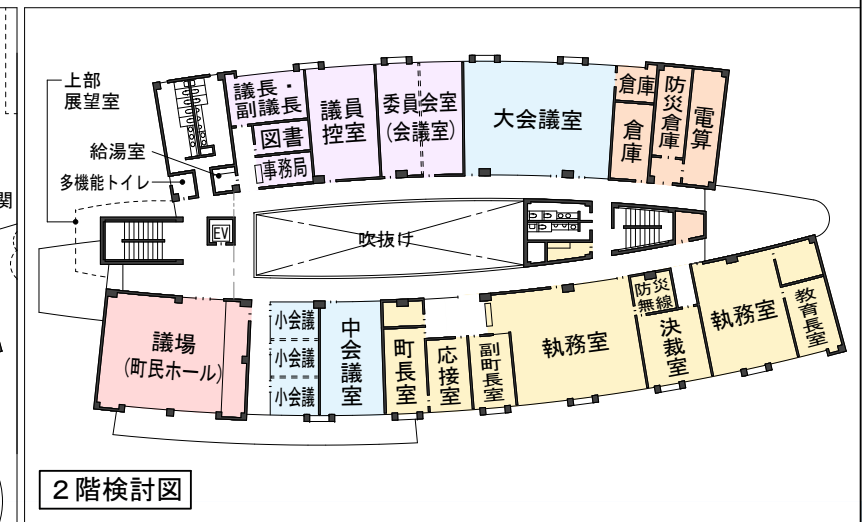
内観パース (1階待合スペース)



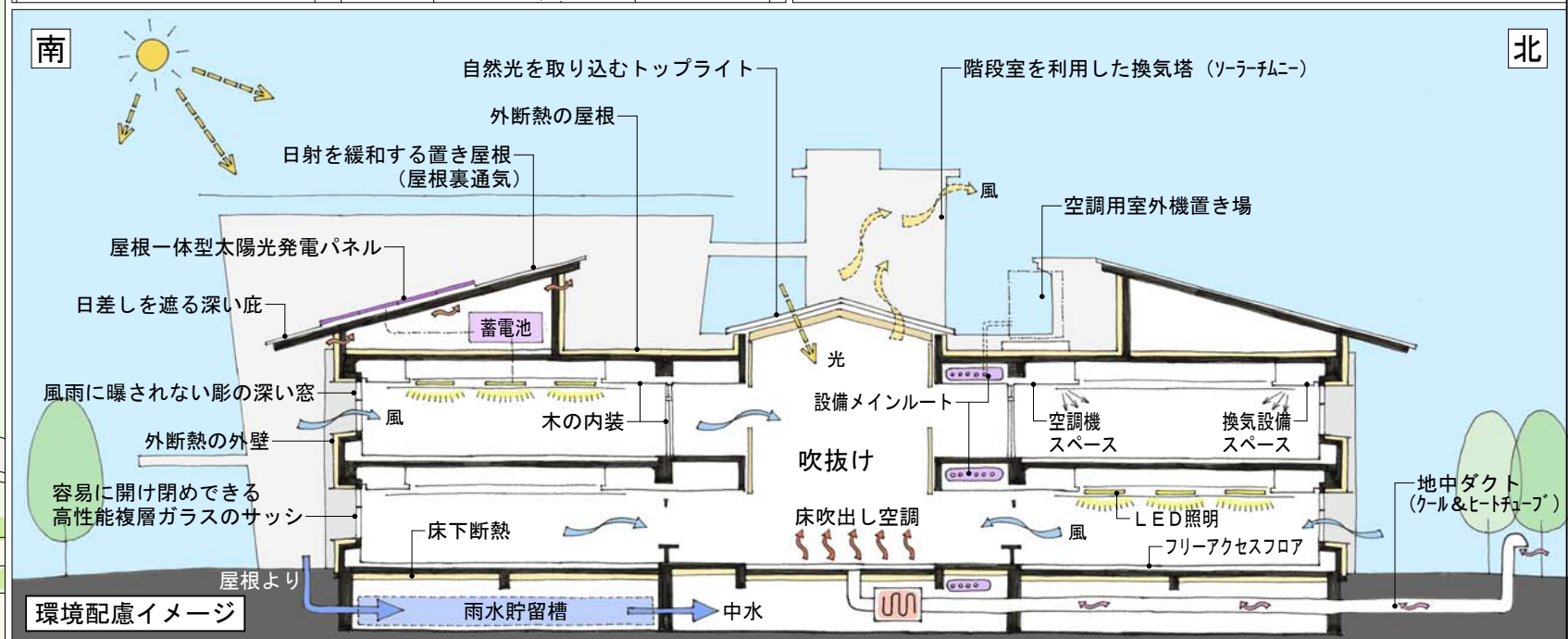
配置検討図



1階検討図



2階検討図



環境配慮イメージ